

# 北見市における景気動向調査報告書

< 第 I 四半期 >

北見商工会議所

## I. 調査要領

### 1. 調査時点及び調査対象期間

(1) 調査時点 平成24年7月20日

(2) 調査対象期間 平成24年4月～6月期実績および平成24年7月～9月期見通しについて調査した。

### 2. 調査対象

北見市に所在する企業を対象に、製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業の5業種150社を往復ハガキにより調査した。

### 3. 回収状況

業種	企業数	対象企業数	回答企業数	回答率
製造業		30社	21社	70.0%
建設業		30社	25社	83.3%
卸売業		30社	22社	73.3%
小売業		35社	24社	68.6%
サービス業		25社	16社	64.0%
合計		150社	108社	72.0%

注) 本調査結果の中で、D・I値とある記号は、ディフュージョン・インデックス(景気動向指数)で好転企業割合から悪化企業割合を差し引いた値を示す

## Ⅱ．概 況

### 《 全 体 の 動 き 》

平成24年度第I四半期<4月～6月>の北見市における業況は、前年比で「好転企業」26.9、「悪化企業」36.1、「好転」から「悪化」を差し引いたD・I値は△9.2となっています。このD・I値を、前年同期（△22.4）と比較してみると13.2ポイントの回復傾向を示しています。また前期調査<23年度第IV四半期>との比較でも、前回△28.7→今回△9.2と19.5ポイントの好転傾向を示しました。

今回の業況を業種別で見ると、製造業D・I値△19.1、建設業D・I値0.0、卸売業D・I値△9.1、小売業D・I値△16.7、サービス業D・I値0.0となっており、前年同期調査と比較すると、サービス業で68.4ポイント、小売業で51.4ポイントの大幅な好転を示している一方、製造業で23.3ポイント、建設業で11.5ポイント、卸売業で4.4ポイントの悪化を示しました。前年同期調査時は、東日本大震災の影響により特にサービス業、小売業のマイナス値が非常に高かったため、両業種今期の好転幅は非常に大きくなっているものの、D・I値がプラスに転じるまでは至っておらず、また製造業、建設業、卸売業は悪化していることから、未だ予断を許さない状況となっております。

また、来期の見通しを全業種で見ると「好転企業」19.4%「悪化企業」40.8%でD・I値△21.4と、前年同期見通し（△39.3）に比べ17.9ポイント回復となりましたが、マイナス値は低くなく、先行き不安が伺える来期見通しとなっております。

### 《 業 種 別 の 動 き 》

#### 1) 製 造 業

##### 生産高

前年比で「増加企業」28.6%、「減少企業」33.3%、D・I値△4.7と前年同期に比べ8.9ポイントの悪化傾向を示し、D・I値がプラスからマイナスに転じる結果となりました。

##### 採 算

前年比で「好転企業」23.8%、「悪化企業」42.9%、D・I値△19.1と、前年同期に比べ10.8ポイントの悪化傾向を示しています。

##### 来期見通し

業況D・I値△14.2、生産高D・I値△14.3、資金繰りD・I値△23.8と、前年同期と比較し、全て好転の結果となりました。

#### 2) 建 設 業

##### 完成工事高

前年比で「増加企業」20.0%、「減少企業」36.0%、D・I値△16.0と前年同期に比べ23.5ポイントの悪化傾向を示し、D・I値がプラスからマイナスに転じる結果となりました。

採 算 前年比で「好転企業」16.0%、「悪化企業」44.0%、  
D・I値△28.0と前年同期に比べて13.2ポイントの  
悪化を示しています。

来期見通し 業況D・I値△32.0、完成工事高D・I値△36.0、  
資金繰りD・I値△16.0と資金繰りで好転を示したものの、  
業況、完成工事高は悪化しており、予断を許さない来期見通し  
となっています。

### 3) 卸売業

売 上 高 前年比で「増加企業」22.7%、「減少企業」22.7%、  
D・I値0.0と前年同期と比べ23.8ポイントの好転とな  
りました。

採 算 前期比で「好転企業」14.3%、「悪化企業」28.6%、  
D・I値△14.3と前年同期に比べ9.6ポイント悪化傾向  
を示しています。

来期見通し 業況D・I値4.6、売上高D・I値△4.6、資金  
繰りD・I値0.0と、前年同期と比べ全て好転しており、  
特に業況ではD・I値がプラスに転じる結果となりました。

### 4) 小売業

売 上 高 前年比で「増加企業」20.8%「減少企業」41.7%、  
D・I値△20.9と前年同期に比べ51.9ポイントの大幅  
な好転傾向を示しましたが、前年同期時のマイナスが大きかつ  
たことが要因であり、今期のマイナス値も決して低くない状  
況となっています。

採 算 前年比で「好転企業」12.5%「悪化企業」50.0%、  
D・I値△37.5と前年同期に比べ30.6ポイントの大幅  
な好転傾向を示しました。

来期見通し 業況D・I値△37.5、売上高D・I値△37.5、資金  
繰りD・I値△12.6と前年同期と比べ全てが好転を示しま  
した。

### 5) サービス業

売 上 高 前年比で「増加企業」43.7%、「減少企業」50.0%、  
D・I値△6.3と前年同期に比べ62.1ポイントの大幅な  
好転を示しました。小売業と同様に前年の大幅なマイナス値か  
らの改善が要因ですが、今期も未だマイナス値となっています。

## 採 算

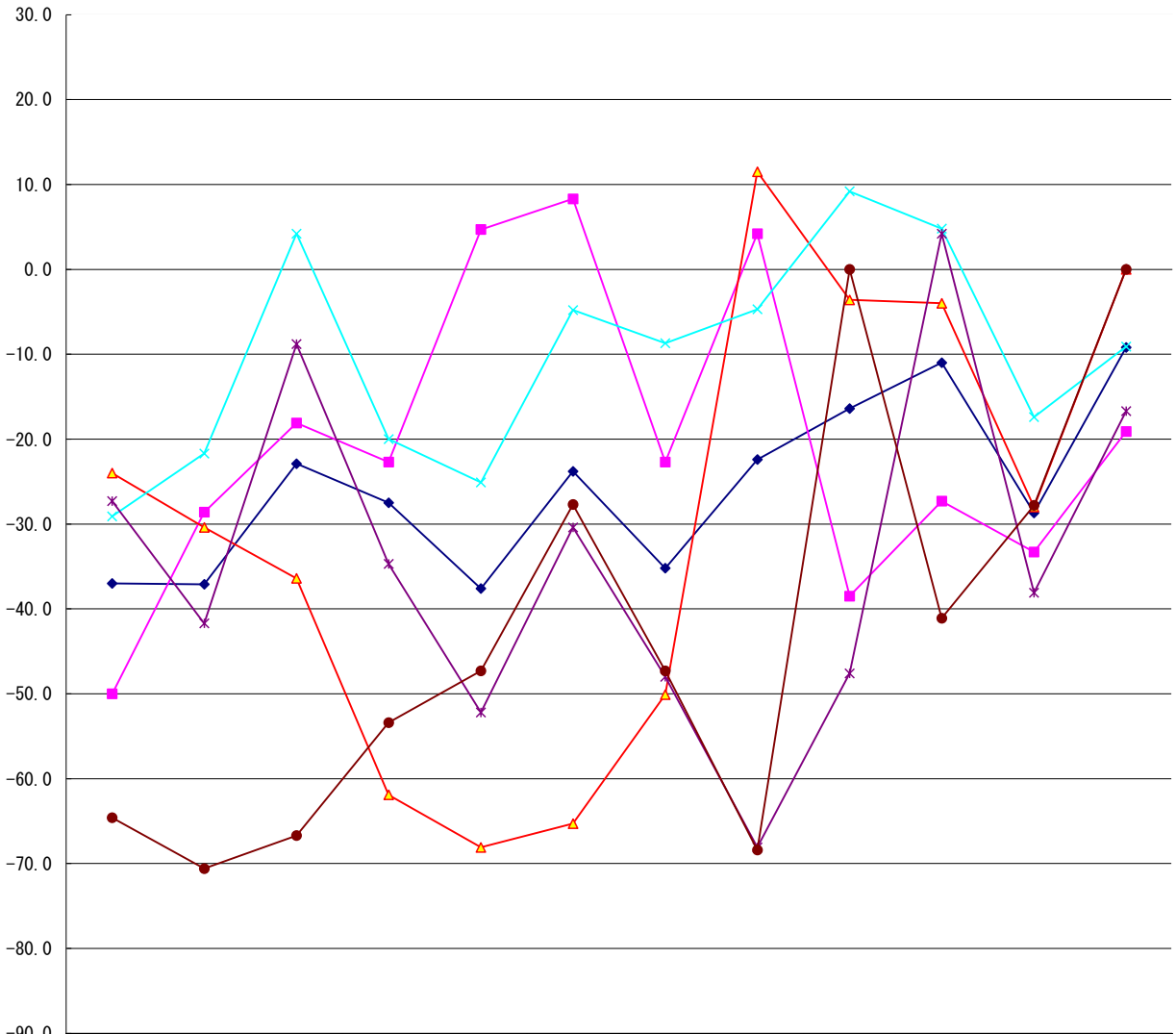
前年比で「好転企業」37.5%、「悪化企業」43.7%、D・I値△6.2と前年同期に比べ72.7ポイントの大幅な好転傾向を示し、売上高同様前年の非常に高いマイナス値から改善が見られました。

## 来期見通し

業況D・I値△25.0、売上高D・I値△18.7、資金繰りD・I値△12.6と、前年同期に比べ全て大幅な好転となりましたが、いずれも未だマイナス値であり、先行きに不安が伺える結果となりました。

## 業況（前年同期比）

◆ 全業種   
 ■ 製造業   
 ▲ 建設業   
 × 卸売業   
 ✱ 小売業   
 ● サービス業



	21. 7~9 21 年度 II	21. 10~12 21 年度 III	22. 1~3 22 年度 IV	22. 4~6 22 年度 I	22. 7~9 22 年度 II	22. 10~12 22 年度 III	23. 1~3 22 年度 IV	23. 4~6 23 年度 I	23. 7~9 23 年度 II	23. 10~12 23 年度 III	24. 1~3 23 年度 IV	24. 4~6 24 年度 I
◆ 全業種	-37.0	-37.1	-22.9	-27.5	-37.6	-23.8	-35.2	-22.4	-16.4	-11.0	-28.7	-9.2
■ 製造業	-50.0	-28.6	-18.1	-22.7	4.7	8.3	-22.7	4.2	-38.5	-27.3	-33.3	-19.1
▲ 建設業	-24.0	-30.4	-36.4	-61.9	-68.1	-65.3	-50.1	11.5	-3.6	-4.0	-28.0	0.0
×	-29.1	-21.7	4.2	-20.0	-25.1	-4.8	-8.7	-4.7	9.2	4.8	-17.4	-9.1
✱ 小売業	-27.3	-41.7	-8.8	-34.7	-52.2	-30.4	-48.0	-68.1	-47.6	4.2	-38.1	-16.7
● サービス業	-64.6	-70.6	-66.7	-53.4	-47.3	-27.7	-47.3	-68.4	0.0	-41.1	-27.8	0.0

## 業 種 別 経 営 上 の 問 題 点

	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
製 造 業	得 意 先 減 少	諸 経 費 増	同業者間の競合	人 材 不 足	人 件 費 増
建 設 業	同業者間の競合	得 意 先 減 少	諸 経 費 増	人 材 不 足	人 件 費 増
卸 売 業	同業者間の競合	得 意 先 減 少	諸 経 費 増	人 材 不 足	人 件 費 増
小 売 業	同業者間の競合	得 意 先 減 少	人 材 不 足	諸 経 費 増	人 件 費 増
サービス業	同業者間の競合	諸 経 費 増	得 意 先 減 少	人 件 費 増	人 材 不 足
合 計	同業者間の競合	得 意 先 減 少	諸 経 費 増	人 材 不 足	人 件 費 増

※ 問題点は、各業種とも3つ選択。

○ 前年同期と比較すると、全体的に「同業者間の競合」が増加しており、製造業を除く業種でトップ回答となった。前年同期時に合計トップであった「得意先減少」は今回も合計で2位と回答が多く、企業にとって慢性化した課題となっていることが伺える。

また、合計における3～4位については前年同期と同じ順位となっている。

### ※その他及び具体的な問題点の記載事項

(製造) ○適正価格の破壊 (建設用金属製品)

(建設) ○先行きが見えなく不安。東北復興による好転を期待している (板金)

○電害の影響で業界が非常に忙しい。職人不足状態になっている。(板金)

(卸売) ○収益力の低迷 (鉄鋼)

○福島原発事故以来、福島・宮城・関東の米が売れず、道内の流通米が不足している (米穀)

○同業者の出店 (作業服・事務服)

○利幅の縮小、仕入価格の上昇 (種苗・肥料・農業資材)

## 業況

(太字アンダーラインは複数事業所が回答)

- 製造業 ⇒ 好転 (菓子、建設用金属製品、一般機械)  
悪化 (木製品建具・家具製作取付、農業用機械)
- 建設業 ⇒ 好転 (電気工事、板金、一般土木・給排水・衛生・冷暖房)  
悪化 (土木建築、土木とび土工、建築、塗装)
- 卸売業 ⇒ 好転 (事務機器・事務用品)  
悪化 (青果物、米穀、食品)
- 小売業 ⇒ 好転 (自動車、生花・園芸、生鮮食品)  
悪化 (機械工具資材、農業機器、スーパー)
- サービス業 ⇒ 好転 (ビルメンテナンス、自動車賃貸、IT)  
悪化 (クリーニング、建物清掃、理容)